

子育て世代の
移送を支える
「子育てタクシー」[®]

一般社団法人 全国子育てタクシー協会

子育て世代の移動の課題とは…

- 基本的な荷物が多い。
 - ベビーカーも、降りたら大きな荷物になる。
 - 眠ってしまった子を抱かなくてはならない場面がある。
 - 時間のロスが多い。
 - 計画的な行動はしづらい。
 - 想定外のことが起こりやすい。
 - 深夜などに体調を崩しやすい。
 - 塾や習い事など、日常の定期的な送迎が増える。
-
- **子どもの移動時（帰宅時や道路上）を狙う、
犯罪の増加！**

そこで、移動を支える 「子育てタクシー」を運行。

「子育てタクシーとは？」

子ども・子育てに関する知識、応急処置、保育実習などを学んだ専用のドライバーが、

- ①荷物の多い乳幼児を連れての外出のサポートや、
- ②保育所や学童保育所、塾などへ子どものみの送迎、
- ③妊娠中の方のいざという時のお手伝いなどを
責任を持って行うタクシーです。

「子育てタクシー」に賛同し加盟した事業者と子育て支援団体が構成される

一般社団法人 全国子育てタクシー協会とは

- 子育て世代が抱える移動の課題を解消し、全国どこでも同じレベルのサービスが提供できるような仕組みを構築しております。
- 事前ガイダンス、ドライバー養成講座、フォローアップ講習、管理者研修など全国統一の会員管理を行っています。
- 事業者目線だけでサービスが提供されないよう、組織づくりに子育て支援団体が参加しています。
- 2014年8月末現在、27都道府県の134社が加盟、1693人のドライバーが登録しています。

このように、そもそも
ドア・ツー・ドアのタクシーは
移動困難な子育て世代にとって
ホントは使い勝手がいいはず…。
なのに、なぜ利用されないのか!?



そこには、タクシーに対して、 女性が持つマイナスイメージがあった！

- タバコ臭い（禁煙車でも）
- 近距離だとイヤな顔をされる
- 感じのよいドライバーかどうかは
乗ってみないとわからない



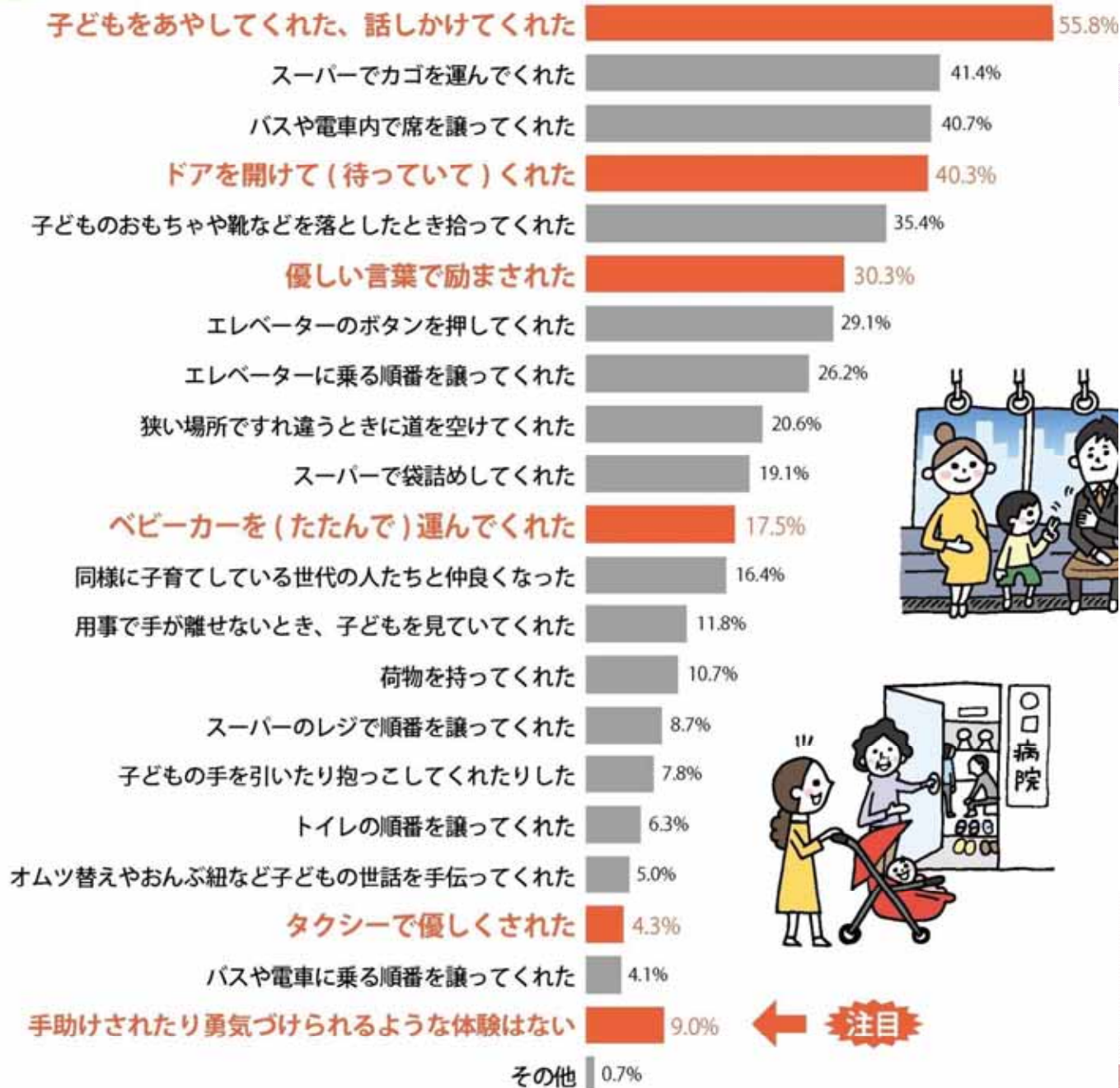
- ★ だから、安心して乗れない
- ★ 料金が高い!と感じる



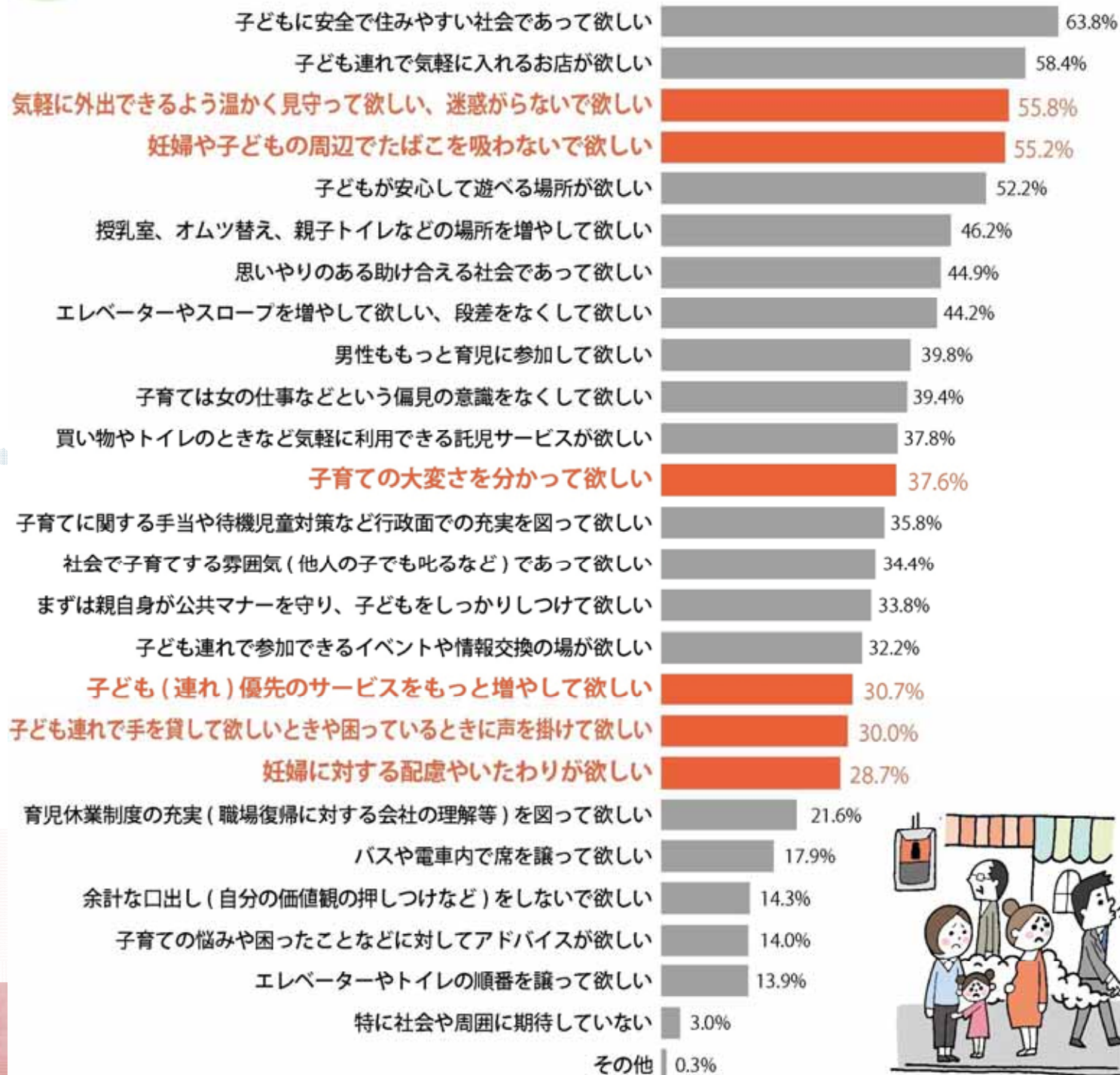
「子育て中の親の外出等に関する アンケート調査」

こども未来財団 2010年12月 全国調査

妊娠中・子ども連れでの外出時に体験した「嬉しかったこと」



周囲や社会に対して期待していること



子育て世代に、タクシーの 安心安全を伝えるためには…

利用者目線での仕組みづくりが必要！
しかし、タクシー事業者だけのアイデアでは、
限界がある。だから、子育て支援事業者と
一緒に運営しているのです！



子育てタクシー

安心便利な4つのコース

子育て世帯のさまざまなシーンを考え、
きめ細かく対応!

荷物の多い子連れの外出を強力サポート

「かんがるーコース」

○通院や健診、幼稚園の送迎やお買い物、
お出掛けなどにご利用下さい。ご要望に応じて、
玄関先までベビーカーやお荷物を運びます。



こんな風にご利用ください!



通園・通学・通塾などお子様ひとりでも安心送迎

「ひよこコース」

- あらかじめ保護者の方からご予約いただいた
お子さんの、お一人での移動のお手伝い。
- 事前打合せを行った上でのご利用となります。
- 予め送迎先に担当ドライバーをお知らせします。
- 電話にてご指定の番号へ送迎の終了をご報告します。



子育てタクシー

安心便利な4つのコース

子育て世帯のさまざまなシーンも考え、
きめ細かく対応!

陣痛が来たら産院へ直行

「このとりコース」

- 出産予定日や産院などを事前登録。
- 事前登録をしておけば、安心して迅速・安全に産院へ直行できます。



こんな風にご利用ください!



急なトラブルや夜間の発熱などにも対応

「ぶくろうコース」

- 夜中の急な発熱など、救急車を呼ぶまでもない症状の時のご利用です。
- 突然の出来事によるお子さまのみの送迎にも対応。



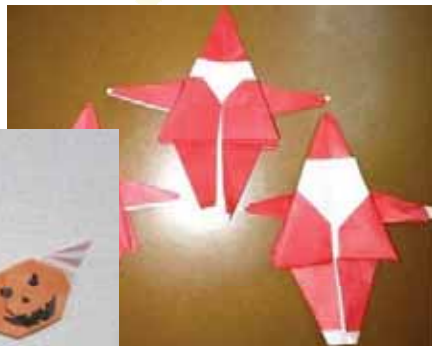
利用者目線で揃えたアイテム



チャイルドシート



チャイルドセット



折り紙



吸水シート

(社)全国子育てタクシー協会の役割

- 子育てタクシードライバー養成講座、フォローアップ講習、管理者研修等の実施
- 子育て支援事業者及び行政とのネットワークの構築
- 子育てタクシー補償への加入促進とリスク管理
- 子育てタクシーに関する調査研究び研究者との情報交換
- 子育て支援にかかわる情報提供
- 子育て世代へのPRツールの提供やキャンペーンの
実施など

養成講座 1



養成講座 2



研修会



くらしの足をみんなで考える全国フォーラム2014



ドライバー養成講座の主な内容

- オリジナル・マニュアルによる講習
- 子どもの特徴、起こりうる事故と安全対策及び救命救急
- 子育てママ&幼児視野体験
- 地域の子育て支援の課題と資源
- 行政による子育て支援情報
- チャイルドシートの装着講習
- 保育体験実習

「子育てタクシー補償制度」 について

万が一に備えたリスクマネジメントとして、登録ドライバーには「子育てタクシー保険」への加入を義務付けています。

具体的には…

交通事故、傷害事故（車外含む）、物品破損（ベビーカー等）、人格権侵害（セクシャルハラスメント等）を補償対象としています。

現 状

子育て世代の利用者の現状

- 共働き家庭増加に伴い、ニーズはあるが料金的なハードルが高い
- 安心できる業者が近隣では見つからない
- 祖父母世代に、タクシーは贅沢という概念が残る地域がある



実施事業者の現状

- 社会貢献度は高いが、すぐに利益には結びつきにくい
- ドライバーが退職するたびに、新たなドライバーを養成しなくてはならず経費がかさむ
- 社内にも、新たな事業に対する抵抗がある

課題と展望（1） 懸念されること

- ★子育て支援でも、ともすれば福祉有償運送サービスのよう
なことが認められていく可能性がある。
（ファミリーサポート、子育てママ等）
- ★移送のプロであるタクシー事業者が、育児支援移送の受
け皿となるような組織作りをする必要がある
- ★移送のプロ（タクシー事業者）と子育て支援のプロが手
つなぎをすることで、企業とNPOの協働や民間と民間の
協働から生まれる「確かな子育て支援策」であることを地
域行政にも認知してもらい、「社会的な評価」を得ること
で、継続的・安定的な事業となるべく道を提案していく

課題と展望 (2) バウチャーの提案

利用者には…

各地の子育て支援制度の中で、地域バウチャー券などが発行されることにより、子育てタクシーが移動困難時の選択肢となる

タクシー事業者には…

地域バウチャー券などの使用により、養成したドライバーを活かす場がより多く提供されることで、社内が活性化し全体のモチベーションアップにつながる

子育て支援事業者には…

移動困難な子育て家庭の足を継続的に確保できる。また、障がい児の送迎などへも支援対象が広がる。

行政には…

企業 & NPO & 行政の協働事業が生まれ、地域子育て支援の裾野が広がる。主に地域子育て支援部署にとっては、妊娠期～子育て期の移動支援の材料となる。

課題と展望 (3) 子育て支援の動向

国は女性の就労を推進している。
女性に働いてもらうため、待機児童解消に力を入れ、
保育所整備等を進めている。

- ↓ 環境が整備されていくと、働く女性は増える。
- ↓ 共働きが増えれば子育てタクシーの出番は増える。

もしかして…これからのタクシー事業は、
国交省じゃなく厚労省が相手かも!?

こんな仕掛けをみんなで考えるのも、子育て支援団体
と一緒に運営しているからこそ!

一般社団法人 全国子育てタクシー協会 のあゆみ

平成18年 全国子育てタクシー協会発足

平成21年 ハイ・サービス日本300選受賞（産業生産性協議会）

平成22年 一般社団法人化

平成26年 バリアフリー化推進功労者大臣賞受賞（国土交通省）